

Ⅲ 令和８年度「上富良野町教育行政執行方針」の概要

【学校教育の推進】

【目標１】生きて働く学力の育成

１ 確かな学力の育成

- (1) 全国学力・学習状況調査や様々な検査等の分析をもとに、基本的な学習内容の定着を図るための「確かな学力の育成プラン」を作成し、各学校での具体的方策を進める。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、「学習者が主体的に学ぶ授業」を目指し、組織的に授業改革を進める。
- (3) 授業づくりのモデル「上富良野町スタンダード」を活用し、小学校・中学校一体となり授業改革を進める。
- (4) 学習支援システム「ロイロノート・スクール」を積極的に活用し「協働的な学び」の充実を図る。
- (5) １人１台端末の持ち帰りを促進し、「個別最適な学び」を通じ、家庭学習の習慣化と質の向上を図る。

２ 特別支援教育の充実

- (1) 合理的配慮が必要な子どもたちやその特性について就学前の早期から関係機関と連携し実態把握に努める。その過程で保護者との合意形成を大切に教育相談を丁寧に進め、より適正な「学びの場」の提供に努める。
- (2) 在籍後の実態や学びの状況を定期的に交流・情報共有し、個々の自立や進路・社会参画に向けた中・長期的な支援に努める。
- (3) 中学校に進学する特別に配慮が必要な児童について、各小学校・中学校の特別支援学級担当と通級指導担当と連携による学びの接続が図られるように取り組む。
- (4) 上富良野小学校、上富良野西小学校、上富良野中学校に「特別支援教育支援員」を配置する。
- (5) 小学校における医療的ケアの実施体制を継続する。

３ 国際理解教育及び外国語教育

- (1) 教育活動全体を通して、他国の文化や考え方に触れる機会を大切にする。
- (2) 外国語指導助手（ALT）を小学校・中学校に配置し、上富良野小学校の英語専科教員と ALT との役割を明確にし、専門的・効果的な指導への支援を進める。

４ 情報教育の充実

- (1) 「上富良野町情報モラル指導カリキュラム」に基づき、ICT 機器の基本的操作のスキル向上及び情報モラル教育を進める。
- (2) SNS 利用によるトラブルや問題行動等の未然防止のため、各課程・保護者の意識高揚を図る対策を進める。
- (3) 学校教育情報化推進計画（令和５年度から令和１０年度）に基づき、指標毎の目標達成において着実に取組を進める。

５ キャリア教育の充実

- (1) 自ら学ぶ力を育成するためのキャリアパスポート等の活用を推進する。
- (2) 農業体験や職場体験学習を充実させ、「学ぶこと」と「働くこと」の意義が実感できる活動の充実を図る。

【目標２】豊かな心の育成

６ 道徳教育の充実

- (1) 「特別の教科 道徳」を中核とし、学校教育活動全体を通じて「道徳性」を養う。
- (2) 地域の様々な人と関わる活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成に努める。

７ ふるさと教育の充実

- (1) 『第１次改訂社会科副読本「かみふらの」』の活用し、上富良野町の特色や基幹産業、十勝岳ジオパークを含む自然環境等の理解促進を図る。
- (2) アイヌの人たちの文化、北方領土等に関心を高め、正しく理解することができるよう「ふるさと学習」を進める。

８ 読書活動の推進

- (1) 上富良野町子ども読書活動推進計画に基づき、学校・家庭・地域における読書活動を推進する。

９ SDGs・ESD の推進

- (1) 学校の教育活動全体を通じ、「SDGs」「ESD」に関連した活動や環境教育を推進する。

10 体験活動の推進

- (1) 地域の教育資源を生かした多様な体験活動を促進する。

11 コミュニケーション能力の育成

- (1) 授業における対話や交流場面を重視し、教育過程全体を通じた言語活動の充実を図る。
- (2) 英語によるコミュニケーション能力の向上を図る授業を推進する。

12 いじめ・不登校を解消する取組の充実

- (1) 上富良野町いじめ防止基本方針を踏まえ、各学校の「いじめ対策委員会」等の定期的・継続的な開催を促進とタブレット端末を活用した「心の健康観察」を実施し、「初期対応の遅滞」を招くことのないよう注視していく。
- (2) 電話による「かみふらのあんしんライン」、手紙による「子ども SOS ミニレター」「メールによる相談」を継続する。
- (3) 小学校４年生から中学校２年生の各クラスで学級経営アセスメントツール（WEB QU）を導入し実施する。
- (4) 臨床心理士等専門的資格を有する人員の配置を継続し、児童生徒のカウンセリングや保護者との教育相談体制の一層の充実を図る。
- (5) 教育支援センターの効果的な運用を図り、不登校の児童生徒のニーズに応じた「居場所づくり」を促進していく。
- (6) 保健福祉課や関係機関等との情報共有を進め、多面的なサポート体制の充実を図る。
- (7) 不登校の児童生徒と学校とのつながりが途絶えることがないようオンライン体制を継続する。

【目標3】健やかな体の育成

13 体力・運動能力の向上

- (1) 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の分析結果による体力づくりに向けた「一校一実践」が充実した取組となるように支援する。
- (2) 上富良野小学校に、週1回程度、体育エキスパート教員を招聘し、体力向上及び授業改善を進める。

14 健康教育・食育の推進

- (1) 養護教諭と連携・情報共有し、児童生徒の健康づくりを推進する。
- (2) 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けていくように、栄養教諭による「食育授業」を引き続き推進していく。
- (3) 給食費の無償化に伴い、「お弁当持参の日」は廃止する。
- (4) 熱中症や感染症予防に向けて、健康管理の徹底に努める。

【目標4】学びを支える家庭・地域との連携・協働

15 家庭教育支援の充実

- (1) 児童生徒の望ましい生活習慣の定着や様々な通信アプリの適切な使用等に関する情報提供と啓発教育を進め、家庭における管理意識を高める。
- (2) 各学校・教育支援センターと連携し、いじめ・不登校等に悩む児童生徒や保護者がいつでも相談できる体制を更に支援する。

16 学校と地域の連携・協働の推進

- (1) コミュニティ・スクールの機能を更に活かした学校運営がより一層進むように、「地域コーディネーター」を明確に位置づけ「地域コーディネーター」を中核とし地域学校協働活動の更なる推進を図る。

17 学びのセーフティネット

- (1) 常に学びを保障できるようオンラインによる授業体制の確立とタブレット持ち帰りを推進するため、家庭の状況に応じポケット Wi-fi の貸与を継続していく。
- (2) 就学援助を継続するとともに、保護者の教育費負担軽減に努める。

【目標5】学びを高める信頼される学校づくり

18 学校段階間の連携・接続の推進

- (1) 上富良野町教育連携推進協議会の計画的な運営により、幼小連携事業「上富良野町のびのびプラン」、小中連携事業「上富良野町ぐんぐんプラン」を組織的に継続し推進していく。
- (2) 各こども園・各小中学校の行事や授業等を参観し合うことにより、保育教諭、小・中学校教諭の交流を図る。
- (3) 今後の町内全体での児童数の推移を見据え、小学校教育の充実に向けた小学校間連携を上富良野西小学校と東中小学校並びに上富良野小学校を含めた取組を検討していく。

19 特色ある学校づくり

- (1) こどもや保護者、地域のニーズを生かす教育内容の工夫改善への支援を継続する。
- (2) 東中小学校について、少人数によるきめ細やかな指導等、特認校ならではの特色ある学校づくりを進める。
- (3) 上富良野西小学校児童の三重県津市 安東小学校への訪問・交流を支援する。

20 授業力・児童生徒理解力向上

- (1) 上富良野町教育研究会への支援に努める。
- (2) ICT 機器を利用した実践研修や先進的な実践校視察等を通し、ICT 活用のスキルアップや授業力向上を図る。

21 学校施設

- (1) 1人1台タブレット端末の更新に伴う ICT 環境等のトラブル等について注視し、解決に向け検討していく。
- (2) 児童生徒の椅子・机、並びにスクールバスを更新していく。
- (3) 「学校給食のあり方検討委員会」において安心・安全な給食の提供について、引き続き検討・協議を進める。
- (4) 小学校及び中学校の給食費の「無償化」に向けて取り組んでいく。

22 学校運営の改善

- (1) 「北海道アクションプラン第3期計画」及び「上富良野町業務推進計画」に基づき、「こどもに向き合う時間を確保する」ため、校務支援システムの活用による情報や教材の共有、学校、学習支援員等の効果的な活用など、業務量の軽減化を図る。
- (2) 学校教育指導主事を中心に、学校に対する迅速かつ確かな指導、学校運営の改善を進める。

23 学校安全教育の充実

- (1) 「危機管理初期対応マニュアル」に基づき、緊急事態における児童生徒の安全確保に向けて、各関係機関との連携を図り、継続して取り組んでいく。
- (2) 各学校の避難訓練や防犯訓練、並びに町の防災訓練と連携した取組等、安全教育に対する支援に努める。
- (3) 防災教育として、児童・生徒・教職員に非常食を摂食してもらうなど、災害時における訓練を実施していく。
- (4) 児童生徒の登下校時の安全について、「通学路安全推進会議」「住民会」「町内会」など関係機関と連携し、地域総ぐるみで安全保持に努める。

【目標6】上富良野高等学校への総合的支援

24 上富良野高等学校への総合的支援

- (1) 「十勝岳ジオパーク学習」をはじめ、地域探究活動などの特色ある教育活動を支援する。
- (2) 通学費や就学支援金、入学準備金の助成、各種資格取得への支援のほか、希望者に学校給食の提供を継続する。
- (3) 給食希望者に対し、給食費の「無償化」に向けて進めていく。